

平成29年6月15日

智頭町議会

議長 酒本 敏興 様

智頭町議会議員 高橋 達也

〃 平尾 節世

〃 谷口 雅人

〃 徳永 英太郎

〃 石谷 政輝

〃 大河原 昭洋

議員派遣結果報告書

平成29年5月10日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1 派遣名 議会報告会

2 目的 智頭町議会基本条例第5条の規定に基づく議会報告会

3 派遣場所及び期間

- (1) 智頭町新見 225 番地 2 「富沢地区公民館」 平成29年5月17日
- (2) 智頭町大背 205 番地 「那岐地区公民館」 平成29年5月18日
- (3) 智頭町埴師 54 番地 「土師地区公民館」 平成29年5月19日

4 概要 別紙1～3のとおり

別紙1

平成29年度 議会報告会結果概要（富沢地区）

- 1 日 時 平成29年5月17日（水）19:00～20:37
- 2 出席議員 徳永、高橋、平尾、谷口、石谷、大河原 6人
- 3 参加者数 10人（男9人、女1人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（約30分）後に意見交換

（1）質疑応答

問 グラウンドゴルフ場などの整備について

- ・サッカー場や遊園地を含め、智頭町は整備が遅れている。保護者などから意見が出ていないか。

答 遅れている分野と認識。病院横にミニ公園を整備済み。グラウンドゴルフ場は関係団体から整備要望があったが、芝生等の管理が困難とのことで具体化していない。

問 人口減の認識について

- ・現議員が選出された4年前から人口はどれくらい減少しているか。また、今後の4年後の状況をどうとらえているか。

答 年間の死亡者が約120人、社会減が約50人。
地方創生総合戦略では、2040年の人口が3800人と想定し、この減少を抑えるため、5000人の維持を目標としている。

問 洪水危険地の対応について

- ・2014年（平成26年）10月に防災マップを作成（新見）し、神社の上流からの洪水が危険だと町へ指摘しているが未対応だ。
 - ・この地では昭和54年10月に洪水被害が生じている。
 - ・昭和57年に堰堤が整備されたが、土砂が堆積しており今後の洪水時に機能しない。
 - ・堰堤に通じる道は平成10年にふるさと整備土木事業でコンクリート舗装したが、コンクリート下に砕石が敷いていない不備がある。
 - ・昨年、ふるさと整備土木事業の申請をしたが、予算が付かなかった。
- 答 堰堤は県の事業だが町の担当課へ意見は伝えておく。地元集落で議会に陳情（要望）書を提出してほしい。

問 議会報告会の開催案内について

- ・財産区、公民館、地区協議会には開催案内があったが、各部落の世話人にも案内をすれば、参加者が増えるのではないか。
- ・今回で7回目の開催とのことだが、参加者の動向はいかがか。

答 （初回からの参加者動向を説明）近年では減少傾向にある。告知端末でも放送しているが今後の検討課題。

問 議会報告会の記録について

- ・昨年の報告会で発言したことが記録されていない。

答 議会として最終整理して公表するのでご了解を。

問 保育園整備に関連した固定資産税の増加等について

- ・用地買収により周辺の土地評価額が増加した事例があると聞いた。
- ・用地買収単価を知りたいが情報開示請求すればわかるか。

答 評価額が増加したことは承知していない。

用地買収単価は個人情報となるので、非公表になると思うが、開示請求はできる。

問 裁判案件について

- ・畜産団地は補正予算を組んで裁判しているが、現状はどうなっているのか。
- ・中学校の教員駐車場裁判はどうなっているのか。現状回復できていないはまだ。

答 畜産団地は、これまでに2回の意見陳述があり、5月下旬に3回目がある。中学校の駐車場は結審しており、現状回復の対応中。

問 育みの郷について

- ・3月定例議会で中野議員が一般質問していたが、自然分娩で出産することに町内にどれだけ希望者がいるのか、データを把握しているのか。
- ・智頭町に必要な施設なのかどうか。
- ・取り組むことに議会は危機感を持たなかったのか。

答 希望者は町内外にあるが施設がなかった。地方創生事業として企業誘致の概念で計画された取り組み。

問 工事担当の職員対応等について

- ・歴史の道整備事業の工事現場へ行ったが設計がお粗末で歴史の道らしくない。担当職員はわかっていないので、よくわかるコンサルタントに設計させるべきだ。また、必要な増工対応ができていない。
- ・年度末には工事代金の支払いが遅延し、多くの業者が困っている。職員も手一杯だと思うが、契約の決まりを守るようにしてほしい。

答 担当課に伝える。

問 錦橋の歩道整備について

- ・橋の改修は困難でも、歩道の整備が必要ではないか。

答 県から町へ移管される際に県に要望したが、橋の強度の関係で困難との結論になった。

(2) 要望・提案

錦橋から手前側の道路の早期除雪について

- ・降雪時に圧雪となり、歩行者も多く危険だ。
- ・今冬に限らず毎年困っている。

町道の維持工事（除草）の実施について

- ・病院に至る町道や総合運動場から富沢に至る町道の路肩に雑草が目立つため、維持工事で除草を行うべき。普段の維持が大切だ。

別紙2

平成29年度 議会報告会結果概要（那岐地区）

- 1 日 時 平成29年5月18日（木）19：00～20：30
- 2 出席議員 徳永、高橋、平尾、谷口、石谷、大河原 6人
- 3 参加者数 16人（男13人、女3人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（約30分）後に意見交換

（1）質疑応答

問 議会広報モニター意見の内容について

- ・問題点を指摘する意見があるか。

答 （モニター制度についての説明後）分かりにくい行政用語には注釈をつけるなど配慮しているが、分かりにくい言葉があるとの指摘が毎回あり反省している。多くのモニターからは「読みやすい」との評価を得ている。

問 総務委員会が担当する「商工労働」について

- ・どのような意味合いのものか。

答 働き場の確保の意味が主であり、これに取り組むことにより、移住定住促進に結び付くと認識している。

問 みんなで支える集落拠点施設整備事業について

- ・よい新規事業であり、天井を修繕したいと福祉課に相談に行ったが、補助対象になるかどうか未定とのことであり、今後、各地区に事業内容の説明を行うということだった。
- ・具体的な細かな内容は決まっていないのか。

答 高齢者の福祉対策事業であり、天井が補助対象になるかどうかは執行部で検討される。

問 先進地視察について

- ・視察先の状況報告だけではなく、智頭町にどのように反映させるのかが知りたい。
- ・視察の報告会をしてほしい。

答 視察で議員が勉強し、一般質問や委員会での発言につなげている。視察で学んだ健康寿命の延伸対策については、知事に要望した。報告会は開催していないが、報告書を作成している。

問 育みの郷について

- ・ 3月定例議会で中野議員が一般質問していたが、自然分娩の出産は町外者の利用が主なのか。町内利用はどうか。
- ・ 企画課が担当となっているが、福祉課や智頭病院との連携が必要ではないか。

答 町内外から利用希望があり、誘致して施設整備するもの。窓口は企画課だが、福祉課や病院との連携は必要。命にかかわることなので、議会としても慎重に進めるよう執行部に伝えている。

問 自治基本条例について

- ・ 3月定例議会で高橋議員が質問していたが、この条例は必要なのかどうか、必要ならその理由を聞きたい。(高橋議員への質問)

答 議会が基本条例を制定したように、自治体としても必要と認識。自治体の憲法として、町民との間の位置づけなどを規定するものであり、行財政改革審議会に諮問し、制定すべきと回答されたものだ。

問 ふるさと納税について

- ・ 智頭町は納税額が極端に少ないが、何が理由か。

答 もっとアピールしても良いと思うが、制度に批判的な意見もあり、本来の寄附趣旨と異なって返礼品の競争になっていることもある。智頭町には疎開保険もあり、首長の考え方もある。

問 有害鳥獣の捕獲後の処理について

- ・ 処理はどのようにしているのか。処理施設が必要ではないのか。
- ・ 産廃扱いにはならないのか。

答 穴を掘って埋めることになっている。産廃にはならない。

問 地域おこし協力隊について

- ・ 現在何人いて、定住の状況はどうか。

答 現在10人。3年の期間終了後は、定住する人としらない人もいる。

問 大麻の栽培事件後について

- ・ 畑の復元等その後の状況はどうか。

答 当事者は復元に向け、町と毎月協議している。夢のある取り組みのため議会も支援したが、法に抵触する行為を起こし誠に遺憾。

(2) 要望・提案

問 森のミニデイの拡充について

- ・那岐駅舎内で開始し7人が利用されているが、利用希望者はもっといるので、旧那岐小学校を利用するなど整備が必要だ。

答 地元の「いざなぎ振興協議会」で空き校舎の利活用として検討してほしい。

別紙3

平成29年度 議会報告会結果概要（土師地区）

- 1 日 時 平成29年5月19日（金）19：00～20：30
- 2 出席議員 徳永、高橋、平尾、谷口、石谷、大河原 6人
- 3 参加者数 5人（男5人、女0人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（約30分）後に意見交換

（1）質疑応答

問 移住定住政策について

- ・実績はどのような状況か。
- ・移住者にはどのような支援があるのか。
- ・状況や結果を町民にわかるようにすべき。

答 概数だが過去5年間で約200人の移住があった。支援策は様々な制度があり、空家の片付けにも補助制度がある。土師地区には移住者が比較的少ないこともあり、実態がわかりにくいと思う。

問 地籍調査について

- ・今後の計画はどうか。
- ・GPSを使うなどやり方の工夫が必要ではないか。

答 現在の予算状況であれば約30年後が完了予定。
技術的な工夫については、議会は承知していない。

問 昨年の報告会で要望した官地の法面对策について

- ・民生常任委員会で現地確認されたが、その後の回答がない。

答 担当課から回答するようにしていたが、指摘を受け対応する。

問 天木の森林セラピーロードに至る町道の改良について

- ・整備後は自家用車の通行増が見込まれるが、道路幅員が狭いため、待避所の整備がもっと必要。
- ・整備してもらうためには、陳情書の提出が必要か。

答 防災など緊急性の高いものは陳情書とは関係なく実施できるものがあるが、一般的には陳情書が提出され議会が採択している。

問 智頭病院改革プランの推進支援予算額について

- ・4億8千万円と高額だが、一般会計からの繰り入れか。

答 主にはそのとおり。

問 防火用水、水槽の整備について

- ・水の確保が不便な箇所への整備に良い知恵がないか。
- ・防災計画の中ではどうなっているのか。

答 線路をまたぐ地域は防火上の不安があると認識している。県の防災計画をもとにしているが、近年は災害の質が変化しており検討課題だ。

問 農業団体と議会との協議会について

- ・農業委員会制度の変更等もあり、議会と連携を取りながら進めるべきと考えるが、所管の民生常任委員会ではそのような話は出ていないか。

答 出ていない。むしろ議会へ諸課題をご教示願いたい。

問 智頭農林高校の存続対応について

- ・存続に向けた対応に一貫性がないと感じる。継続的、安定的な対応が必要で、もっと町民の努力も必要。
- ・他校とは違った特色を打ち出すことが必要。
- ・議会としても柱をもった行動が必要。

答 昨年は智頭中学校からの入学数が2人だったが今年は7人に増加。学校も同窓会も誠意をもって対応している。議員に卒業生が3人おり、努力しているところ。

(2) 要望・提案

問 智頭病院の検診率向上について

- ・市立病院では看護の日を設け、看護師が来院者に血圧測定などのサービスをしているとのこと。
- ・智頭病院もこうした取り組みで検診率を向上してほしい。

問 水道水の枯渇懸念について

- ・地元の水道施設は簡易なもので、水源も不安定な状態であり、将来的に不安である。下水は整備が進んだが、上水整備のよい対策はないか。

答 水道には補助制度が少なく課題である。

問 豪雪対応のための道路整備計画について

- ・代替道路の整備や幅員拡張等について長期的な構想をもって進めることが必要。